

【ご参考】

下記は 2021 年 1 月 15 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。原文リリースは[こちら](#)からご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2020 年第 4 四半期および通期決算を発表

2020 年第 4 四半期:純利益 121 億ドル(EPS 3.79ドル)、
貸倒引当金戻入 29 億ドルを除き 99 億ドル(EPS 3.09ドル)
2020 年通期:純利 291 億ドル(EPS 8.88ドル)

- 株主資本利益率(ROE)12%、有形自己資本利益率(ROTCE)¹14%
- 普通株ベース Tier1 自己資本比率² 標準的手法 13.1 % 先進的手法 13.8%
- 配当性向^{3,4}59%

2020 年第 4 四半期(以下、当期)の業績概要⁵

会社全体 (ROE: 19% ROTICE: 24%)

- 当期収益は 292 億ドル、管理ベースでは 302 億ドル¹
- クレジットコストは、29 億ドルの貸倒引当金戻入と 11 億ドルの貸倒損失を含め、19 億ドル
- 平均コア貸出金⁶は前年比 1%増、平均預金残高は 35%増
- 1.4 兆ドルの流動性、HQLA および抵当権設定のない有価証券⁷を含む

CCB: コンシューマー&コミュニティ・バンキング (当期 ROE: 32% 通期 ROE: 15%)

- 平均預金残高は 30%増、顧客投資資産 17%増
- 平均コア貸出金⁶は 6%減、デビットおよびクレジットカード販売取扱高⁸は 1%増
- モバイルカスタマー数は 10 %増

CIB: コーポレート&インベストメント・バンク (当期 ROE: 26% 通期 ROE: 20%)

- グローバル投資銀行業務の手数料収入は 9.2%のウォレット・シェアで業界トップ維持
- フィクスト・インカム・マーケットツ収益 15 %増、エクイティ・マーケットツ 収益 32 %増で、マーケットツ業務収益は 20%増の 59 億ドル

CB: コマーシャル・バンキング (当期 ROE: 36% 通期 ROE: 11%)

- インベストメント・バンキング収入は 53%増の 9 億 7,100 万ドル
- 平均ローン残高は 1%増、平均預金残高は 52%増

AWM: アセット・ウェルスマネジメント (当期 ROE: 29% 通期 ROE: 28%)

- 運用資産残高(AUM)は 17%増の 2.7 兆ドル
- 平均預金残高は 31%増、平均ローン残高は 15%増

【ご参考】

特記事項

- 会社全体として 貸倒引当金戻入 29 億 ドル を含む (1 株当たり利益(EPS) 0.72ドル増)

資本還元

- 普通株式配当28億ドル、1株当たり0.90ドル
- 2020年第4四半期⁹における自社株買いは無し。自社株買いの停止期限は2021年第1四半期末まで延長。

盤石な財務基盤

- 1株当たり簿価は8%増の81.75ドル、有形資産1株当たり簿価¹は8%増の66.11ドル
- バーゼル III 普通株ベース Tier1 自己資本²は2,050億ドル、同標準的手法²は13.1%、先進的手法²は13.8%
- 全社ベース SLR(補完的レバレッジ比率)は6.9%²

営業レバレッジ

- 当期費用は160億ドル、オーバーヘッド比率は55%、管理ベース¹で53%

お客様や地域社会のために

- 2020年における融資および資本調達¹⁰実施額は2.3兆ドル
 - 個人のお客様向け融資2,260億ドル
 - 米国のスモール・ビジネス向け融資180億ドル
 - 法人向け融資8,650億ドル
 - 法人および非米国政府機関向けに実施した資本調達1.1兆ドル
 - 非営利団体および米国政府機関(州、自治体、病院、大学)向けに実施した融資・資本調達は1,030億ドル
- 中小企業向けの給与保護プログラムへの融資280億ドル

-
1. 管理ベース会計を含む非 GAAP 財務指標に関する注記は英文リリース 6 頁を参照。追加注記は同 7 頁参照
 2. 概算。2020 年第 1 四半期に発効された CECL 資本 経過措置規定 を含め、COVID 19 パンデミックに対応して連邦準備制度理事会(「連邦準備制度」)が提供した救済措置を反映しています。2020 年 12 月 31 日に終了した四半期は、CECL 資本 経過措置規定の影響により、普通株式等 Tier1 資本は 57 億ドルに増加しました。SLR は、米国債および連邦準備銀行の預金の一時的な除外を反映しています。COVID 19 パンデミックに関する規制動向については 2020 年 9 月 30 日に終了した四半期のフォーム 10 Q の 四半期報告書の 11~12 ページ、キャピタル・リスク・マネジメントについては同 49~54 ページを参照して下さい。資本指標の詳細については、当社の 2019 年度フォーム 10 K の 85~92 ページの キャピタル・リスク・マネジメントの項目 を参照してください。
 3. 過去 12 カ月(LTM)
 4. 従業員持株分を除く
 5. 注記のない限り は前年同期比
 6. 2020 年第 3 四半期、特定の公正価値オプションで選択された貸付関連のポジションを トレーディング 資産 からローンへ再分類しました。前期金額は、当期 表示に合わせるために修正しています。
 7. 概算。適格流動資産(「HQLA」)および抵当権設定のない有価証券には、平均 HQLA、その他期末 HQLA 適格証券(これらは銀行以外の関連会社に譲渡できない JP モルガン・チェース銀行の超過流動性の一部として含まれ、そのため当社の流動性カバレッジ比率(「LCR」)の計算からは除外されます)、および株式や債券などのその他期末の抵当権設定の無い有価証券が含まれます。連邦住宅貸付銀行(「FHLB」)の借入能力および連邦準備銀行の貸出は含まれていません。追加情報については、2020 年 9 月 30 日に終了した四半期のフォーム 10 Q の当社の四半期報告書の 55~59 ページ、流動性リスク管理の項目を参照してください。
 8. コマーシャル・カードは除外
 9. 2020 年 9 月 30 日、米連邦準備理事会は米国大手銀行への自社株買いの一時的な中止要請期間を 2020 年第 4 四半期末まで延長しました。2020 年 12 月 18 日、米連邦準備理事会は JP モルガン・チェースを含むすべての大手銀行に対し、2021 年の第 1 四半期より条件付きで自社株買いの再開を認めることを発表しています。
 10. 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指します。